

吾妻山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

本日（16 日）、東北地方整備局が設置している浄土平火口カメラによる観測で、これまでみられなかった融雪域と弱い噴気を確認しました。福島県の協力により実施した上空からの観察でも、融雪域と弱い噴気を確認しましたが、その他の大穴火口周辺の状況に大きな変化はみられませんでした。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺（火口から概ね 500m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

2014 年 12 月 12 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。その後警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、2、4、5）

本日（16 日）、東北地方整備局が設置している浄土平火口カメラによる観測では、大穴火口外の北西側でこれまでみられなかった融雪域と弱い噴気を確認しました。この付近では 3 月 8 日に融雪域はみられませんでした。この間については天候不良のため確認できておりません。

吾妻山では、1 月 14 日にも大穴火口外の北東側で新たな融雪域を確認しています。

また本日、福島県の協力により実施した上空からの観察でも融雪域と弱い噴気を確認しました。その他は前回の上空からの観察（1 月 29 日：福島県警察本部の協力による）と比較して、大穴火口周辺の状況に大きな変化はみられませんでした。

本日の大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の状況に変化は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 6）

火山性地震は 2014 年 12 月以降概ね多い状況で経過していますが、3 月 11 日から本日 12 時まで観測されていません。

2 月 15 日以降、本日 12 時までの間、火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 7）

浄土平観測点に設置している傾斜計¹⁾では、長期的な緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動が継続しており、1 月 26 日以降西側上がりの傾向が強まっていますが、3 月 5 日頃から変化がみられません。

また、GNSS²⁾連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山南側山腹観測点（大穴火口の北約 500m）が関係する基線で緩やかな変化がみられており、一切経山付近の膨張を示唆すると考えられます。

国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、2014 年 12 月頃から一部の GNSS 基線で、山体の膨張を示す小さな地殻変動がみられます。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

気象台では火山活動を注意深く監視しています。今後、更なる活動の活発化がみられる場合には、噴火警報等を発表します。

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図1 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況（3月16日）

- ・福島市上野寺（大穴火口から東北東約 14km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・大穴北西側火口壁の白色噴気の高さは 30m です。



①2015 年 3 月 8 日 06 時 00 分



②2015 年 3 月 16 日 09 時 20 分



③2015 年 3 月 16 日 09 時 30 分

図2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況（3月16日）

- ・浄土平山頂の東南東約 1 km に設置されている浄土平火口カメラ（東北地方整備局）の映像です。
- ・実線赤丸で囲んだ部分が、本日初めて弱い噴気を確認した領域です。
- ・融雪域が①にはみられませんでした、②では確認できます。
- ・③では白色噴気を確認できます。
- ・③の撮影領域は②の黒枠に対応します。

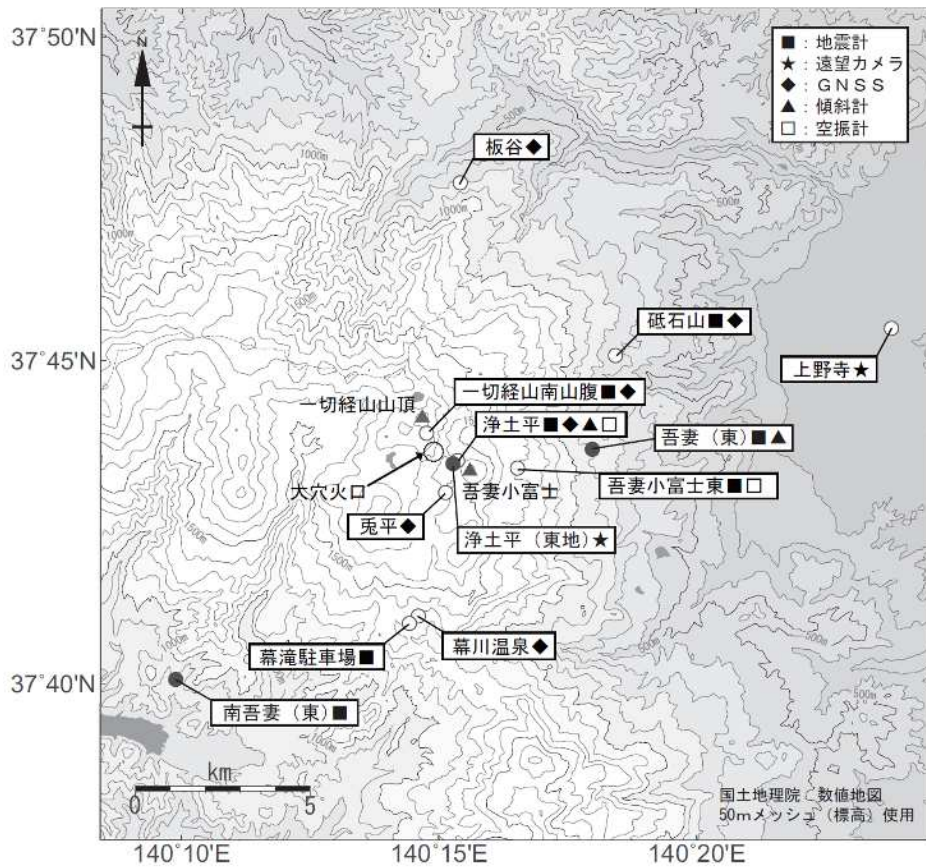


図3 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(東) : 東北大学 (東地) : 東北地方整備局

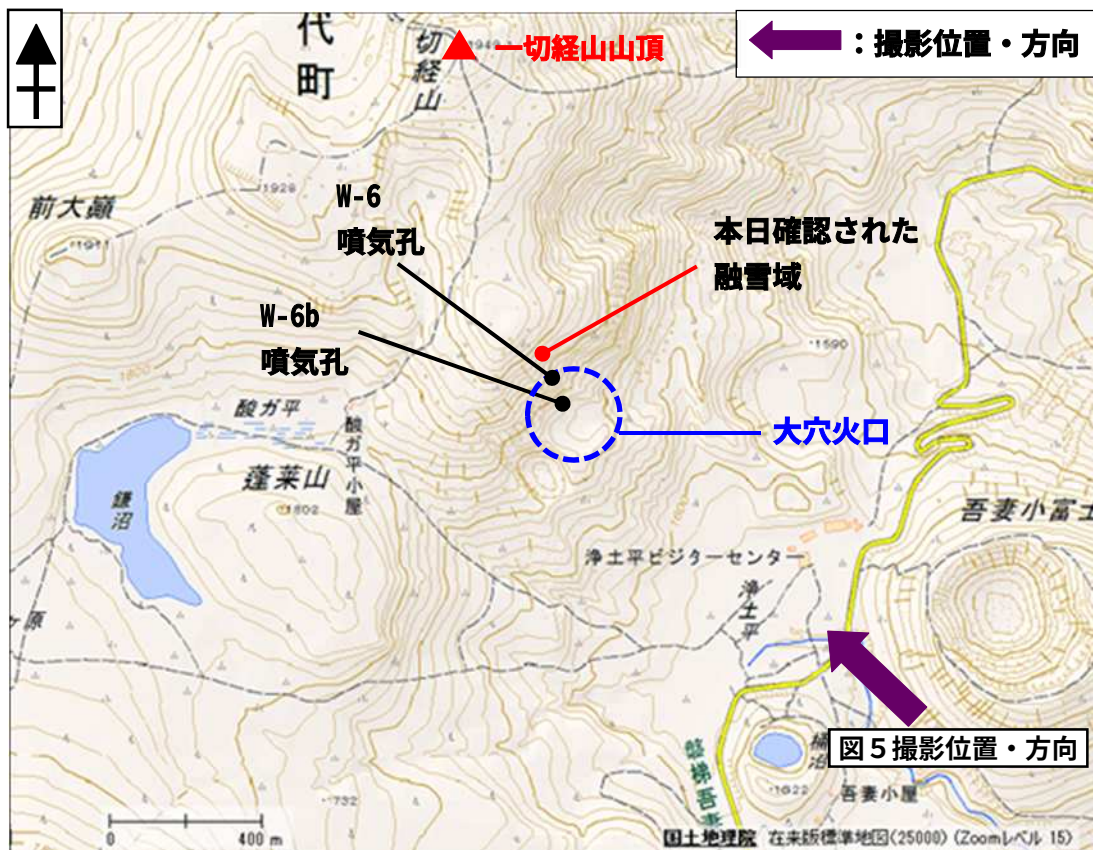


図4 吾妻山 大穴火口付近の撮影位置・方向

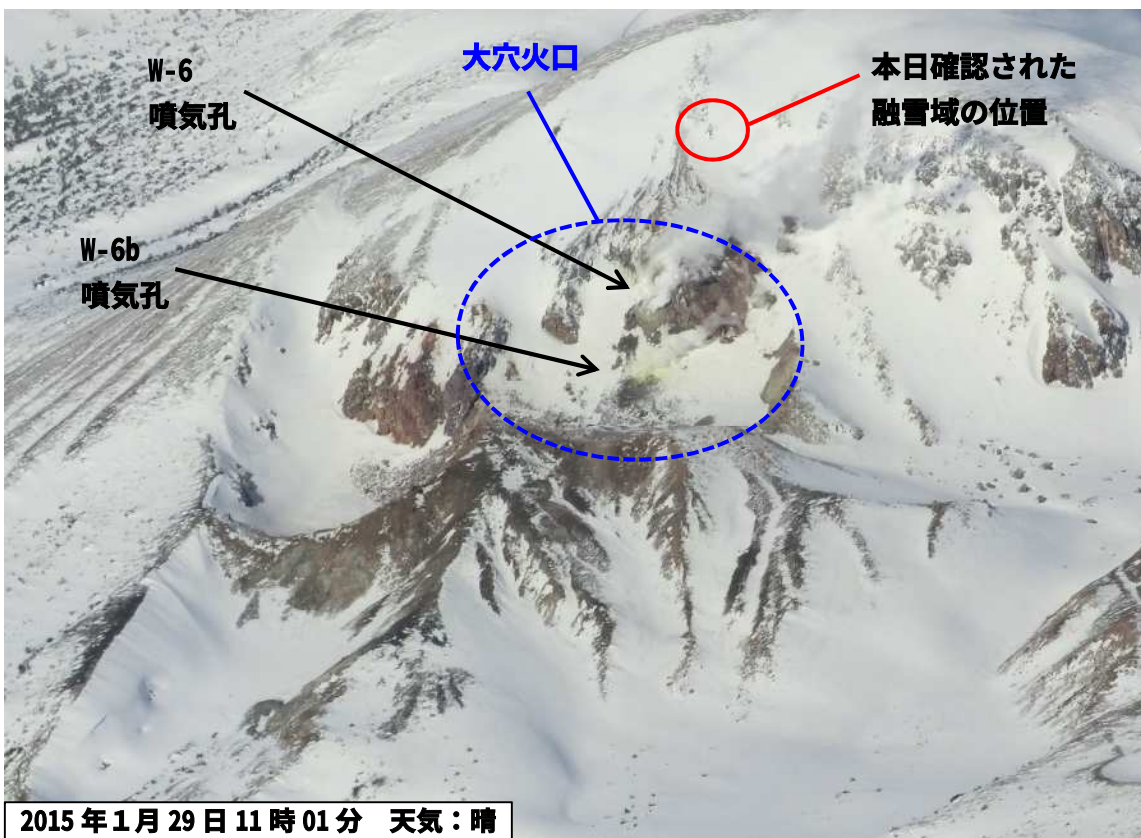
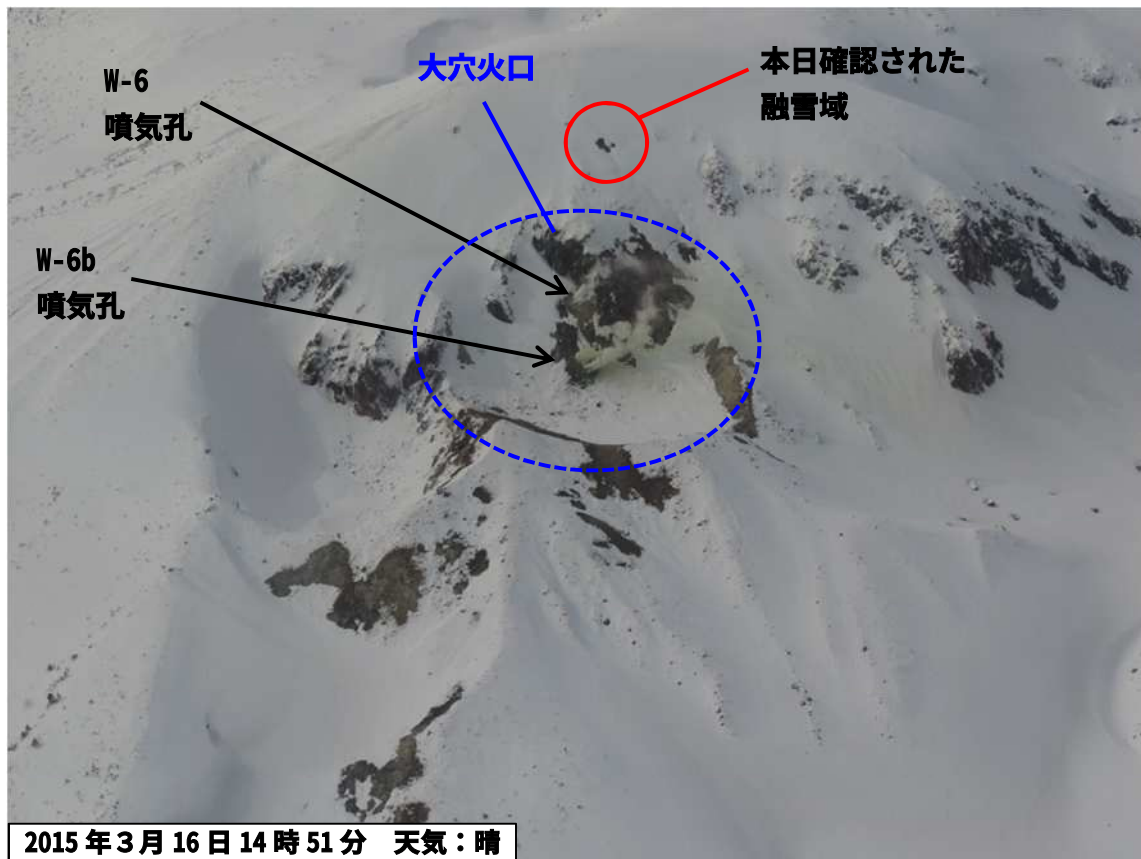


図 5 吾妻山 南東方向から撮影した大穴火口周辺の状況

上図：2015 年 3 月 16 日撮影 下図：2015 年 1 月 29 日撮影

・赤実線内は本日確認された融雪域の位置を示します。

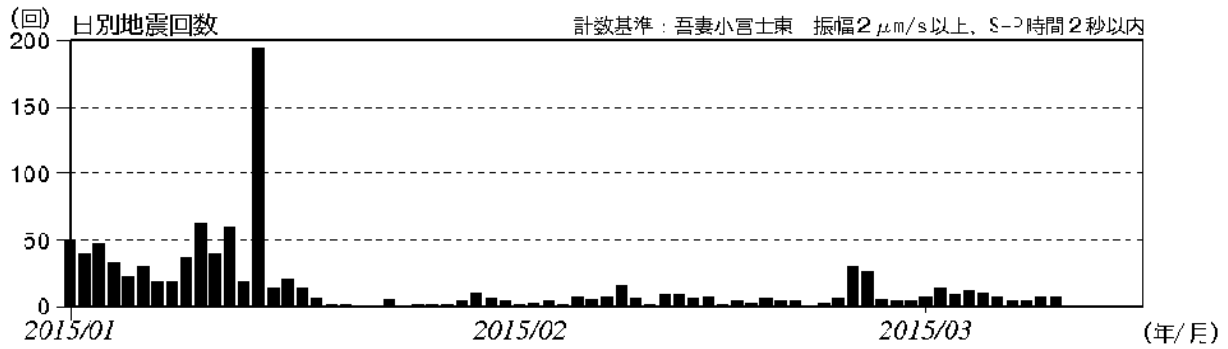


図6 吾妻山 火山性地震の日別回数 (2015 年 1 月 1 日～3 月 16 日 12 時)

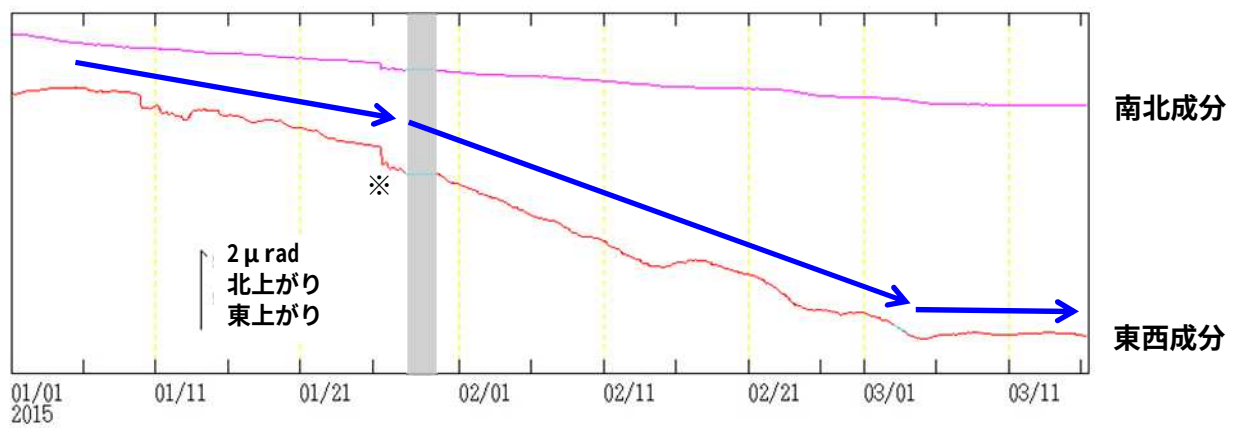


図7 吾妻山 浄土平観測点での傾斜変動 (2015 年 1 月 1 日～3 月 16 日 12 時)

- ・青矢印は傾斜計の変化傾向（東西成分）を示します。
- ・2015 年 1 月 26 日以降、西側（火口方向側）上がりの変動が大きくなっていましたが、3 月 5 日頃から変化がみられません。
- ・灰色部分は欠測を表しています。
- ・※印は、機器に起因する変化です。